学校番号	T3010

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	造形技術 （デザイン）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	基礎製図検定問題集　（公益社団法人　全国工業高等学校長協会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、図面の描き方や寸法の記入方法、三面図や等角図の描き方等を学習します。作品を製作する時に必要な設計図を描けるようになって、自分が作りたいものが表現できるようになりましょう。繰り返し練習をして数をこなせば、図面の見かた、描き方を習得できます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
・基礎製図使用する道具を適切に使用できる技術を身につけるようにする。
・的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなすことができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・等角図から投影図、投影図から等角図の製図を理解するとともに、図面をみて描けるように身につける。

【学びに向かう力、人間性等】
・デザインにおける製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	製図の基本的な知識を身につけているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技術を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。	作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。	説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	基礎製図	・製図とは 製図の定義 ・製図用具について 製図用具の使用方法 ・図法 平面図法（直線、平面、円等）	a:製図の基本的な知識を身に着けているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 b:作業をする際のポイントや板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 c:説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート
二学期	図法	・図法 平面図法（直線、平面、円等）	a:製図の基本的な知識を身につけているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。 b:作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 課題を創造的に造り上げることができるか。 c:説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

三学期	応用	今まで学んだ技術を生かし、オリジナルマーク等の作成	a:製図の基本的な知識を身につけているか。 的確に判断し、早い時間で効率よく作業をこなしていくことができるか。 習得した技法を使って、単純な形式で詳細に描くことができるか。 b:作業をする際のポイントや、板書を記録、整理などしてその結果を次に生かすことができるか。 c:説明をよく理解して、作業に取り組んでいるか。 作業を主体的に取り組み、意欲的な態度であるか。	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート	提出物 授業態度 課題ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度